

リーチDSLモデム

# セットアップ ガイド



SoftBank

## ●本文中の記号について



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。



関連する情報が、本冊子の他のページにあることを示しています。

- ・本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- ・本冊子の製品に対する記述は情報を提供する目的で書かれたもので、保証するものではありません。
- ・記載内容は2005年8月10日現在のものです。
- ・サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
- ・「ソフトバンク」、「＝SoftBank」は、当社またはグループ会社の登録商標または商標です。
- ・Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Mac OSは米国Apple Computer Inc.の商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
- ・本冊子の本文中ではTM、®マークは明記していません。

# 目次

## 安全のために特に注意してください

|                        |   |
|------------------------|---|
| 安全のために特に注意してください ..... | 2 |
|------------------------|---|

## モデムが届いたら

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 箱の中身を確認してください .....            | 6  |
| LANアダプタ（カード）とは .....           | 8  |
| セットアップの流れ .....                | 10 |
| 通信機器を接続する .....                | 11 |
| モデムのランプを確認する .....             | 14 |
| 電話機の回線種別設定を行う（プッシュ／ダイヤル） ..... | 16 |

## パソコンの設定

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| ネットワークの設定をする .....                | 17 |
| ネットワークの設定をする（Windows XP） .....    | 17 |
| ネットワークの設定をする（Windows Me／98） ..... | 23 |
| ネットワークの設定をする（Windows 2000） .....  | 28 |
| ネットワークの設定をする（Mac OS 9.1以降） .....  | 31 |
| ネットワークの設定をする（Mac OS X） .....      | 33 |

## インターネットの接続確認

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| ブラウザでホームページを見る（Windows） ..... | 37 |
| ブラウザでホームページを見る（Mac OS） .....  | 38 |

## メールの設定

|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| Outlook Expressの設定をする（Windows） .....      | 39 |
| Outlook Expressの設定をする（Mac OS 9.1以降） ..... | 43 |
| Mailの設定をする（Mac OS X） .....                | 46 |

# 安全のために特に注意してください

リーチDSLモデムを正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでお使いください。

## ご利用前に必ずお読みください

- ご利用の際は本冊子、およびリーチDSLモデムに付属の冊子や印刷物などに従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品の仕様は国内向けとなっています。海外ではご利用できません。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万が一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことでの純粋経済損失につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本冊子に、他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制あるいは保証するものではありません。
- 本冊子、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

## 使用している警告表示の意味

- |                                                                                             |                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
|  <b>警告</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。      |
|  <b>注意</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 警告

本製品をご自分で修理・分解・改造等目的以外の使用をしないでください。火災や感電のおそれがあります。

本製品をお子様が分解したり、内部に触れたりしないようにしてください。感電、やけど、けがのおそれがあります。また機器故障の原因となります。

落としたり、衝撃を与えた場合は、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

本製品の内部に水が入ったり、本製品をぬらしたりした場合は、すぐに電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本製品内部に液体・金属・たばこの煙などの異物を入れないでください。

本製品の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とししたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本製品の内部に熱がこもり、火災、機器故障の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・じゅうたんやカーペット（床暖房を含む）、布団などの上に置く
- ・テーブルクロスなどの布やレースを本製品に掛ける
- ・本棚、タンスの中、押し入れの中など風通しの悪い場所に置く
- ・紙、本などをのせたり立て掛けたりする

電源アダプタコードを束ねたり、許容量以上の配線はおやめください。火災の原因となることがあります。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

本製品は場合により熱くなる場合がありますので、本製品の周辺に紙、布等燃えやすいものは置かないようにしてください。

本製品を取り付け・使用する際は、必ず使用するパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

## 注意

電源アダプタがコンセントに接続されているときは、ぬれた手で本製品にさわらないでください。感電の原因となります。

本製品をふる場や加湿器のそばなど、湿度の高い所で設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

本製品はスタンドを下に、正しい向きに配置してください。横置きにして使用した場合、内部の温度が上がり、火災や機器故障の原因となることがあります。

付属の電源アダプタは、リーチDSLモデム以外で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や機器故障の原因となることがあります。

本製品の上に物をのせないでください。高温による火災の原因となることがあります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。落雷によって、火災や感電、機器故障の原因となることがあります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本製品を破損、またはデータ消失・破損させるおそれがあります。

長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本製品の電源アダプタをコンセントから抜いてください。

## お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどで本製品をふかないでください。本体の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から30秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。これを守らないと故障の原因となることがあります。

## ■リーチDSLモデムの仕様

### < リーチDSLモデムの主な仕様 >

|        |                                                                            |
|--------|----------------------------------------------------------------------------|
| 外寸     | [黒] 3.5 (H) × 14.5 (W) × 11 (D) cm<br>[白] 3.5 (H) × 15.7 (W) × 22.2 (D) cm |
| 質量     | 本体：[黒] 200g / [白] 480g<br>ACアダプタ：[黒] 440g / [白] 410g                       |
| 電源     | ACアダプタ                                                                     |
| 入力     | AC100V (50/60Hz)                                                           |
| 出力     | [黒] DC5V/600mA<br>[白] DC15V/600mA                                          |
| 最大消費電力 | 9W                                                                         |
| 動作温度   | 0℃～40℃                                                                     |
| 動作湿度   | 5%～95%                                                                     |

### < 通信に関する仕様一覧 >

|                                    |                                               |
|------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 準拠規格 (WAN)                         | Reach DSL V2 [+10dbm版]                        |
| 準拠規格 (LAN)                         | IEEE 802.3/IEEE 802.3i/IEEE 802.3u/IEEE802.3x |
| 伝送速度                               | 960kbps/960kbps                               |
| LANイーサネットポート (10BASE-T/100BASE-TX) | 1ポート                                          |

## 箱の中身を確認してください

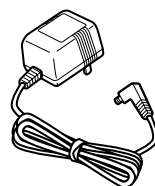
モデムが届いたら、箱の中身が揃っているかどうか確認してください。また、お客様でご用意いただくものも確認してください。

万一、足りないものがあった場合は、SoftBank BBインフォメーションセンターまでご連絡ください。

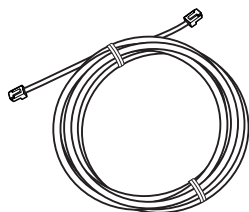
### ■ リーチDSLモデムの箱に入っているもの



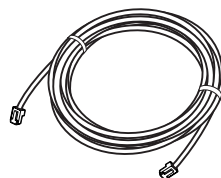
リーチDSLモデム  
(1台)



電源アダプタ  
(1個)



モジュラーケーブル  
(1本)



LANケーブル  
(クロスケーブル・1本)

このほか、本冊子を含む冊子／印刷物など

※製品の外観は実際と異なる場合があります。

※リーチDSLモデムにはスプリッタが内蔵されています。

## ■ お客様にご用意いただくもの

### ・パソコン

Windows 98/98SE/Me/2000/XP、Mac OS (Open Transport2.7以上) でのご利用を推奨。

### ・100Base-TXに対応したLANアダプタ

ノートパソコンの場合、PCカードタイプのLANアダプタかUSBポート接続のLANアダプタが必要。

※10Base-T対応のLANアダプタでもご利用いただけますが、12M以上のサービスでは、そのサービスの速度を十分に活用いただけない場合があります。

※LANアダプタ（カード）について、詳しくは次ページからの説明をご参照ください。

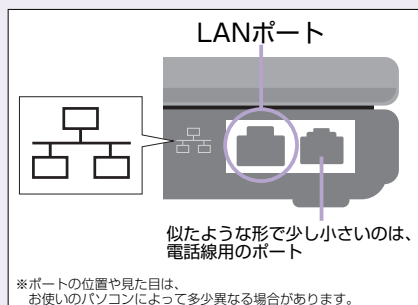
- ブロードバンドコンテンツを快適にお使いいただくためには、3年以内に発売されているパソコンを推奨しております。
- Windows 95につきましては、LANアダプタなどのインストールの簡便さやネットワーク機能の仕様、マイクロソフト社のサポートが終了していることなどから、サポート対象外とさせていただきます。
- Macintoshでは、Open Transportのバージョンが2.7以上でのご利用を推奨しております。Open Transportのバージョンが2.7以上でない場合は、OSあるいはOpen Transportをアップデートしてください。Open Transportのバージョンが2.7以上となるのは、Mac OS 9.1以上あるいはMac OS X以上の場合です。それ以前のバージョンでもご利用いただける場合がありますが、接続を保証するものではありませんのでご了承ください。
- TCP/IPプロトコルおよびDHCPによってIPアドレスが取得できるネットワーク設定が可能なOSであれば、LinuxなどのPC UNIXやWindows NTなどのOSでも利用可能ですが、上記OS以外はサポート対象外となります。
- 対応は日本語OSのみになります。

# LANアダプタ（カード）とは

LANアダプタとは、コンピュータをLAN（オフィス、家庭内など限定されたエリアで使用するネットワーク）に接続するために必要な機器のことです。弊社の提供するADSLサービスでは、パソコンとリーチDSLモデムとの接続に必要です。LANアダプタはパソコン本体に内蔵されていることもあります。そうでないパソコンには後から取り付ける必要があります。その場合はカード型のLANアダプタをパソコン本体の拡張スロット（差込口）に挿入する方法が一般的です。このようなLANアダプタは、LANカードと呼ばれることもあります。

## ■お使いのパソコンがLANアダプタ内蔵かどうか確認する

お使いのパソコンがLANアダプタ内蔵かどうかは、LANポートの有無で判断できます。パソコン本体の背面や側面にLANケーブルを接続するLANポートが用意されていれば、LANアダプタ内蔵です。たいていの場合、LANポートには右図のようなマークがついているので、こちらを目印にすると良いでしょう。



**!** LANアダプタ内蔵かどうか、ご自分で判断が難しい場合には、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

お使いのパソコンがLANアダプタ内蔵の場合は、特に何も用意する必要はありません。そのままモデムを接続してください。LANアダプタが内蔵されていない場合は、別途、LANアダプタが必要です。

## ■LANアダプタ（カード）を用意する

LANアダプタをご用意される場合は、1.「10Base-Tもしくは100Base-TX」対応であること 2. お使いのパソコンに対応していること の2点をご確認ください。

LANアダプタは、電機店などで販売されています。  
また、次のサイトからもLANアダプタをご購入いただけます。  
「ValuMore!（バリュアモア）」 <http://valumore.jp>

## 1. 10Base-Tもしくは100Base-TX対応である

弊社の提供するADSLサービスでは100Base-TXという通信規格に対応したLANアダプタをお使いいただく必要があります

※現在では、1000Base-Tというさらに高速化した製品もあります。1000Base-Tもほとんどの場合弊社の提供するADSLサービスに対応していますが、これほどの通信速度は特に必要ありません。

## 2. お使いのパソコンで利用可能である

パソコンの機種によってご利用可能なLANアダプタは異なります。規格や種類によっては利用できないLANアダプタもありますので、必ずご利用のパソコンに対応したLANアダプタを確認してからご購入ください。LANアダプタの選択や具体的な取り付け方法については、パソコンに付属の取扱説明書などをご覧ください。パソコンメーカーやLANアダプタのメーカーにお問い合わせください。

LANアダプタのご利用には、パソコンにLANアダプタを取り付けるだけでなく、パソコン側にドライバ（LANアダプタを利用するために必要なソフトウェアのこと）をインストールする必要があります\*。具体的なインストール方法は、LANアダプタに付属の取扱説明書などをご確認ください。

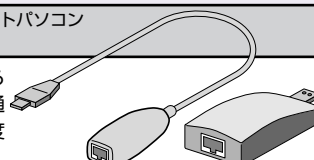
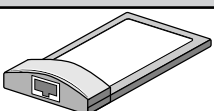
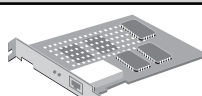
※Windows XPのパソコンをご利用の場合には、ドライバのインストールが不要なLANアダプタもあります。LANアダプタに付属の取扱説明書などをご確認ください。

### 【参考：代表的なLANアダプタ】

LANアダプタには、主に3つのタイプがあります。お使いのパソコンに適したタイプのものでお使いください。

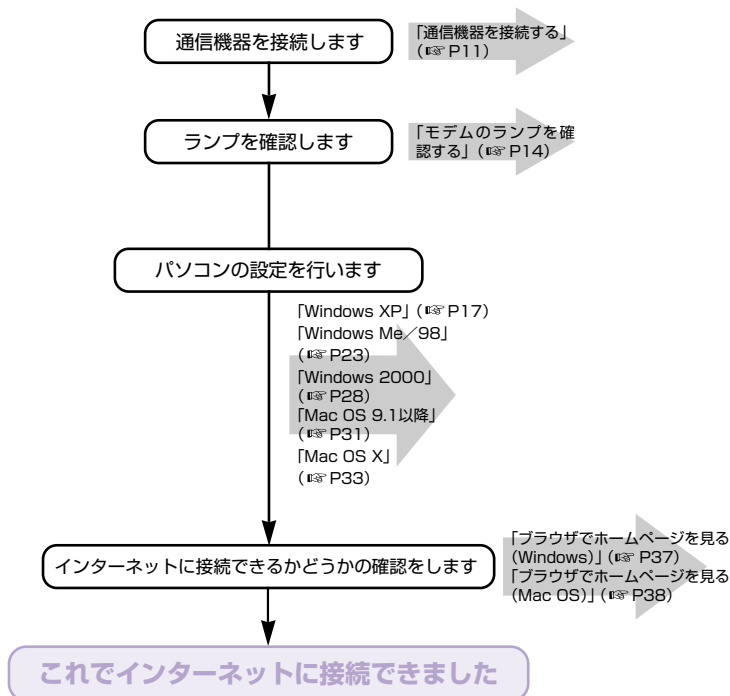


下記の分類はあくまでも一般的な目安です。ご利用の環境によっては当てはまらない場合があります。必ずご利用のパソコンに対応したLANアダプタをご確認のうえご購入ください。

|                                                                                                                                  |                                          |                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| USB接続タイプ                                                                                                                         | デスクトップパソコン／ノートパソコン<br>(USBポートがあるもの)      |   |
| USBポートにLANアダプタを接続するだけで簡単に取り付けられます。PCIバスタイプ／PCカードタイプと比較すると多少通信速度が低下するため、弊社の提供するADSLサービスの速度を十分にご活用いただけない場合があります。                   |                                          |                                                                                     |
| PCカードタイプ                                                                                                                         | ノートパソコン<br>(一部のデスクトップパソコンでは利用可能な場合もあります) |  |
| パソコンのPCカード用のスロットに差し込んで使用します。                                                                                                     |                                          |                                                                                     |
| PCIバスタイプ                                                                                                                         | デスクトップパソコン<br>(PCI接続対応の拡張スロットがあるもの)      |  |
| パソコン本体のケースを開けて、拡張スロットに取り付けて使用します。比較的、安価で購入でき、通信速度も十分です。なお、通常のサイズのものとは小型カード（Low Profile）の2種類がありますので、拡張スロットがどちらのタイプか確認してからご購入ください。 |                                          |                                                                                     |

# セットアップの流れ

次の順序に従って、リーチDSLモデムのセットアップを行ってください。



◆通信機器の接続からインターネットへの接続はこれで完了です。

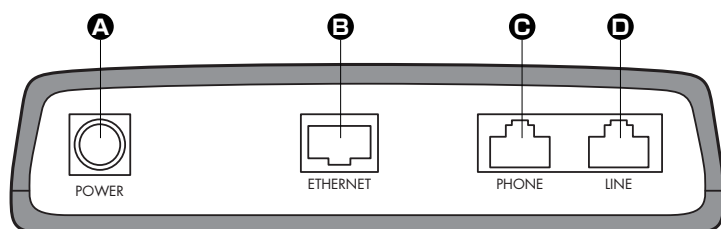
引き続き、Outlook ExpressまたはMailでメールの設定を行う場合には、次のページをご参照ください。

- ・ WindowsでOutlook Expressをご利用になる場合……P39
- ・ Mac OSでOutlook Expressをご利用になる場合……P43
- ・ Mac OSでMailをご利用になる場合……P46

# 通信機器を接続する

## ■ 背面パネル／コネクタ

- **A POWER** ……電源コネクタ。電源アダプタを接続します。
- **B ETHERNET** ……イーサネットポート。同梱のLANケーブル(クロスケーブル)で、BBフォン・ターミナルアダプターやパソコンを接続します。
- **C PHONE** ……モジュラーケーブルで、BBフォン・ターミナルアダプターや電話機を接続します。
- **D LINE** ……モジュラーケーブルで、モジュラージャックと接続します。



## ■ BBフォン・ターミナルアダプター

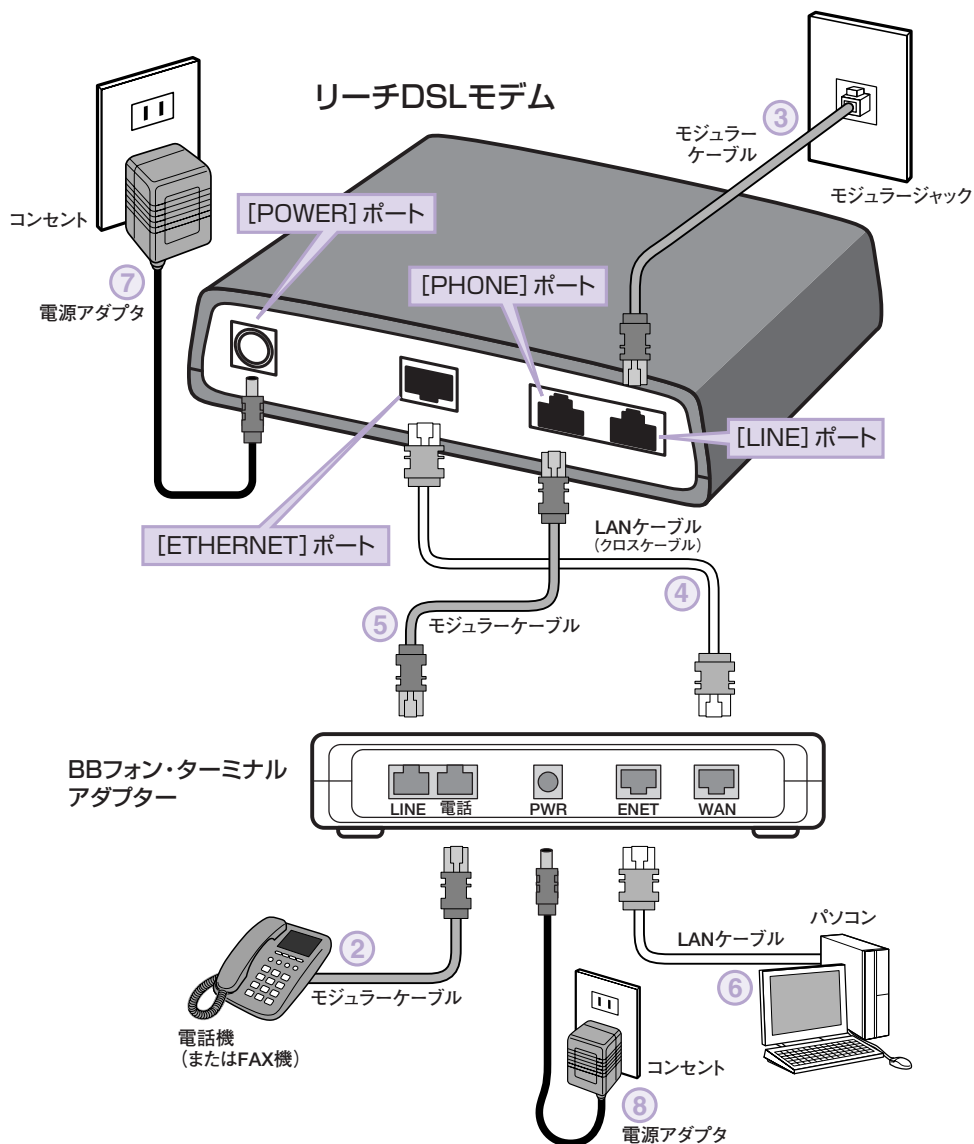
BBフォン・ターミナルアダプターは、リーチDSLモデムに接続して使います。BBフォン・ターミナルアダプターについて、詳しくはBBフォン・ターミナルアダプターに同梱の「BBフォン・ターミナルアダプター セットアップ・ガイド」をご覧ください。

### ⚠ 注意

- 本サービスはベストエフォート型のサービスです。下り最大速度は弊社が採用する技術の論理最大速度であり、電話局からの距離やお客様宅内の環境、今後のアマチュア無線との干渉対策などにより最大速度を保証するものではありません。また開通までにお時間をいただく場合やサービスをご利用いただけない場合がございます。
- リーチDSLとして使用する回線で次のようなシステムを利用されている場合は、リーチDSLサービスが利用できない、あるいは不安定になることがあります。  
ホームテレフォン、ビジネスフォン、内線電話、ドアフォンに接続された電話機、ダイヤルイン追加番号、信号監視サービス  
これらをご利用の際は、回線工事をするか、加入電話ライトプラン（アナログライト）など、新規にお申し込みが必要となる場合があります。また、ノーリングサービス（ガス・水道の検針等）や警備保障をご利用の方は、サービスのご使用にあたって対応工事が必要になる場合があります。詳しくはそれぞれの事業者にお問い合わせ下さい。
- 「オフトーク通信サービス」をご利用の場合は、オフトーク通信サービスを利用した放送等にノイズが入ることがあります。

リーチDSLモデムとBBフォン・ターミナルアダプター、パソコン、電話機を接続する

※リーチDSLモデム、BBフォン・ターミナルアダプターやケーブルなどの形状は、実際と異なる場合もあります。



- ・リーチDSLモデムとBBフォン・ターミナルアダプターを重ねて設置しないでください。発熱するおそれがあります。
- ・差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。

## ① 機器の電源を切る

接続する機器（パソコン、リーチDSLモデム、BBフォン・ターミナルアダプター、電話機）の電源をすべて切ってください。

## ② 電話機（またはFAX機）とBBフォン・ターミナルアダプターの接続

ご使用中の電話機（またはFAX機）を接続している電話線を、壁のモジュージャックから取り外し、BBフォン・ターミナルアダプターの【電話】ポートに接続してください。

## ③ リーチDSLモデムとモジュージャックの接続

リーチDSLモデムに同梱のモジュラーケーブルを使用して、リーチDSLモデムの【LINE】ポートと壁のモジュージャックを接続します。

## ④ リーチDSLモデムとBBフォン・ターミナルアダプターの接続（1）

リーチDSLモデムに同梱のLANケーブル（クロスケーブル）を使用して、リーチDSLモデムの【ETHERNET】ポートとBBフォン・ターミナルアダプターの【WAN】ポートを接続します。

## ⑤ リーチDSLモデムとBBフォン・ターミナルアダプターの接続（2）

リーチDSLモデムに同梱のモジュラーケーブルを使用して、リーチDSLモデムの【PHONE】ポートとBBフォン・ターミナルアダプターの【LINE】ポートを接続します。

## ⑥ BBフォン・ターミナルアダプターとパソコンの接続

BBフォン・ターミナルアダプターに同梱のLANケーブル（ストレートケーブル）を使用して、BBフォン・ターミナルアダプターの【ENET】ポートとパソコンのLANポート（LANアダプタまたはLANカードの差込口）を接続します。

## ⑦ リーチDSLモデムの電源を入れる

リーチDSLモデムに同梱の電源アダプタを使用して、リーチDSLモデムの【POWER】ポートとコンセントを接続します。



- ・リーチDSLモデム、BBフォン・ターミナルアダプター、電話機、パソコンなどの電源アダプタは、それぞれの機器に正しく接続してください。電気製品の電源アダプタは、機器によって定格電流や定格電圧、入力端子の＋極／－極の形態、位置などが異なり、ほかの製品のものを接続すると機器の誤動作や故障、発熱の原因となって、たいへん危険です。
- ・電源を入れる順序は、必ず  
リーチDSLモデム→BBフォン・ターミナルアダプター→パソコン  
の順で行ってください。それぞれの電源投入は、1～2分の間隔を置いてください。

## ⑧ BBフォン・ターミナルアダプターの電源を入れる

BBフォン・ターミナルアダプターに同梱の電源アダプタを使用して、BBフォン・ターミナルアダプターの【PWR】ポートとコンセントを接続します。

## ⑨ パソコンの電源を入れる

パソコンの電源を入れてください。

# モデムのランプを確認する

通信機器の接続が終わったら、モデムの前面パネルのランプが正常に点灯するかどうか確認してください。

## ヒント

BBフォン・ターミナルアダプターのLEDランプについて、詳しくはBBフォン・ターミナルアダプターに同梱の「BBフォン・ターミナルアダプター セットアップ・ガイド」をご確認ください。

リーチDSLモデムの電源を入れると、すべてのLEDランプが点灯します。その後図のように [PWR]、[WLK]、[LLK] の各ランプが点灯すれば、回線は正常に機能しています。

またこの時、データの送受信があると [WAC] ランプが点滅します。

### [PWR] ランプ

リーチDSLモデムに電源が供給されているときに点灯します。点灯しない場合は、電源アダプタの接続を確認してください。

### [ALM] ランプ

エラーが発生したときに点灯します。点灯したままになっている場合はリーチDSLモデムの再起動を行う必要があります。

### [TST] ランプ

電源投入直後の自己診断テスト中、または弊社からリモートによるテストを行った場合に点灯します。

### [WLK] ランプ

リーチDSL回線に正常に接続されているときに点灯します。

### [WAC] ランプ

リーチDSLモデムを通じて通信が行われているときに点灯します。

### [LLK] ランプ

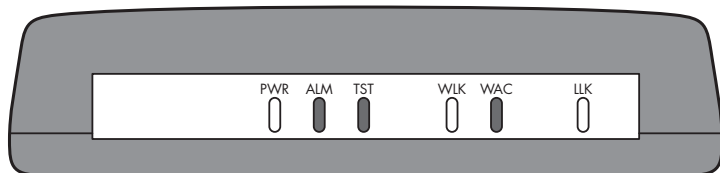
パソコンまたはBBフォン・ターミナルアダプターとの間が正常に接続されているときに点灯します。なお、ケーブルの接続が正常であっても、パソコンの電源が入っていない場合は点灯しません。

## 正常な状態

○ : 点灯

● : 消灯

◐◑ : 点滅



## ランプが正常に点灯しない場合

### ■[WLK]ランプ、[LLK]ランプがともに点灯しているが、インターネットに接続できない場合

⇒パソコンのネットワーク設定の問題が考えられます。

パソコンのネットワークが正しく設定されているかどうかをご確認ください。

### ■モデム電源投入後、[LLK]ランプが点滅している場合

⇒モデムとパソコン間の通信が正常に行われていません。

モデムとパソコンの間が正しく接続されているかどうかをご確認ください。

### ■モデム電源投入後、1～2分経っても[WLK]ランプが消灯している場合

### ■モデム電源投入後、1～2分経っても[WLK]ランプが1秒ごとに点滅する場合

⇒リーチDSL信号を認識できない状態です。

通信機器の接続を再度ご確認ください。

接続に問題がなくてもリーチDSL信号が認識できない場合は、回線の状況、宅内の環境（電話回線を利用するサービスが導入されている場合など）の問題などが考えられます。

### ■モデム電源投入後、1～2分経っても[WLK]ランプがすばやい点滅、または不定期に消灯・点滅を繰り返す場合

⇒リーチDSL信号を認識していますが、電話局との通信が不安定な状態です。

通信機器の接続を再度ご確認ください。

接続に問題がなくてもリーチDSL信号が認識できない場合は、回線の状況、宅内の環境（電話回線を利用するサービスが導入されている場合など）の問題などが考えられます。

### ヒント 工事状況（ステータス）の確認

電話局内工事が完了していないために、通信ができない場合もあります。あらかじめお客様の工事状況（ステータス）をご確認ください。工事状況は、「BB会員サービス」ページよりご確認ください。

### BB会員サービスページ

<http://www.softbankbb.co.jp/member/>

また、0120-981-488（通話料無料）でもご確認いただけます。メールでお問い合わせいただく際には、help@sbb-support.jp 宛にてお願いいたします。

# 電話機の回線種別設定を行う(プッシュ/ダイヤル)

通信機器の接続が完了したら、必ずお使いの電話機(またはFAX機)で、回線種別設定を行ってください。回線種別設定が正しく行われていないと、次のような電話サービスをご利用いただけないことがあります。

※電話加入権不要タイプをご利用のお客様は、次のような電話サービスを利用した通話の発信はできません。

- ・「110」「118」「119」などの緊急通報および一部の3桁特番
- ・「0120」や「0570」、「0800」、「0990」で始まるフリーダイヤルやナビダイヤル等の電話サービス
- ・相手先電話番号の前に「0000」(ゼロを4回)を付けたBBフォン以外の電話サービスでの通話

BBフォン以外の電話サービスについて、詳しくは「BBフォン サービスご利用ガイド」でご確認ください。

## ヒント 回線種別について

加入電話(NTT、日本テレコム等)の回線種別(電話回線の種類)には、「プッシュ(トーン)回線」と「ダイヤル(パルス)回線」の2種類があります。ご利用の回線種別がどちらなのかは、回線事業者(NTT、日本テレコム等)からの「ご利用明細」でご確認ください。

- ・「ご利用明細」に「プッシュ回線利用料」と記載されている場合 → プッシュ回線
- ・ // 何も記載がない場合 → ダイヤル回線

① 回線事業者(NTT、日本テレコム等)からの「ご利用明細」で、ご利用の加入電話の回線種別を確認します。

② 手順①で確認した回線種別に合わせて、電話機の回線種別設定<sup>(※)</sup>を行います。

(※)…回線種別の設定方法は、ご利用の電話機によって異なります。電話機に付属の取扱説明書をご確認いただくか、電話機メーカーまでお問い合わせください。

！ 電話機の機種によっては、「自動」や「AUTO」など、自動的に回線種別を調べて設定する機能を持つものもありますが、こうした機種をご利用の場合も、必ず手動で回線種別を設定してください(お使いの環境によっては、自動設定の機能では回線種別が正しく設定できない場合もあります)。

③ 回線種別設定が完了したかご確認ください。  
電話がかかり、音声为正しく聴こえれば、電話サービスは間違いなくご利用いただけます。

※たとえば、「117」などに電話をおかけいただき、アナウンスが正しく聴こえるかお試しください。  
※通話料はお客様負担となります。あらかじめご了承ください。

## ヒント 音声为正しく聴こえない場合

上記の設定を行っても音声为正しく聴こえない場合は、電話サービスがご利用いただけていません。こうした場合は、手順②の電話機の回線種別設定が間違っていることがまず考えられます。再度、電話機の回線種別設定をご確認ください。

手順②で回線種別が正しく設定されているにも関わらず、電話サービスがご利用いただけない場合は、電話機で次のような設定を行っている可能性が考えられます。

- ・ ACR (LCR) 機能を利用している
- ・ 電話機の解除番号が影響している
- ・ 短縮ダイヤルを利用している

これらの原因の対処方法については、BBフォン・ターミナルアダプターに同梱の「【重要】BBフォンご利用時は電話機の設定にご注意!!」をご覧ください。

！ 回線種別設定の操作は、電話機の電源を入れ直した場合や停電の発生後にも、必ず行ってください。

# ネットワークの設定をする

通信機器の接続が終わったら、パソコンでネットワークの設定を行います。

あらかじめパソコンにLANアダプタ（またはLANカード）が装備されていて、利用可能な状態になっていることを確認してください。

## ヒント セキュリティについて

ADSL回線でインターネットに常時接続をするようになると、外部ネットワークから不正にアクセスされパソコンが操作されてしまうなどの可能性が高くなります。ファイルやフォルダをのぞかれないようにするためには、(1) パソコンのネットワークの設定でファイルやフォルダの「共有」を禁止したり、(2) ファイヤーウォール機能のあるウイルスチェックソフトを導入したり、(3) ブロードバンドルータを利用したりすることをお勧めいたします。

ご利用のパソコンのOSに応じて、設定を行ってください。

- ・ Windows XPの場合……このページ
- ・ Windows Me/98の場合……P23
- ・ Windows 2000の場合……P28
- ・ Mac OS 9.1以降の場合……P31
- ・ Mac OS Xの場合………P33

## ネットワークの設定をする (Windows XP)

### ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- ① [スタート] メニューの [コントロールパネル] をクリックします。



- ② [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

ここをクリック



- ③ [インターネット接続のセットアップ  
や変更を行う] をクリックします。

ここをクリック

[インターネットのプロパティ] 画面  
が表示されます。



- ④ [接続] タブをクリックし、[セットア  
ップ] をクリックします。

ここをクリック ここをクリック

[新しい接続ウィザード] が起動します。



- ⑤ [次へ] をクリックします。

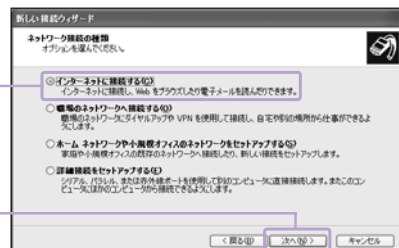
ここをクリック



- ⑥ [インターネットに接続する] を選択  
し、[次へ] をクリックします。

ここをクリック

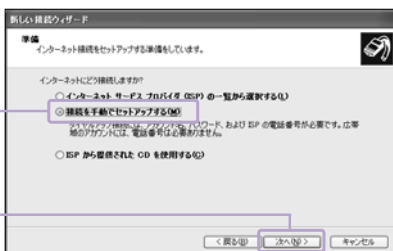
ここをクリック



- ⑦ [接続を手動でセットアップする] を選択し、[次へ] をクリックします。

ここをクリック

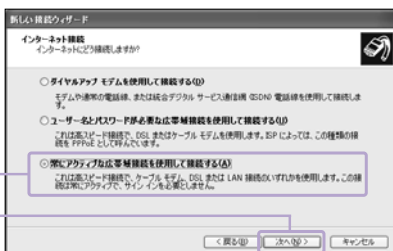
ここをクリック



- ⑧ [常にアクティブな広帯域接続を使用して接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。

ここをクリック

ここをクリック



- ⑨ [完了] をクリックします。

ここをクリック

[新しい接続ウィザード] が終了します。



## ネットワークの設定を確認する (1)

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- ① [スタート] メニューの [コントロールパネル] をクリックします。

- ② [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

- ③ [ネットワーク接続] をクリックします。

ここをクリック



- ④ [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

！ お使いのパソコンによって表示が多量異なります。

ここをダブルクリック



- ⑤ [プロパティ] をクリックします。

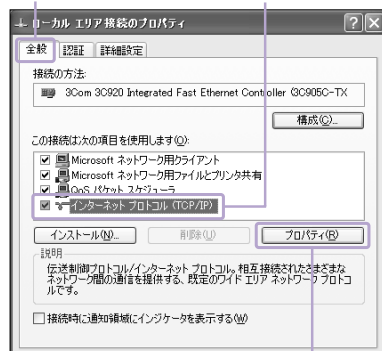
ここをクリック



- ⑥ [全般] タブをクリックします。  
[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

ここをクリック

ここをクリック

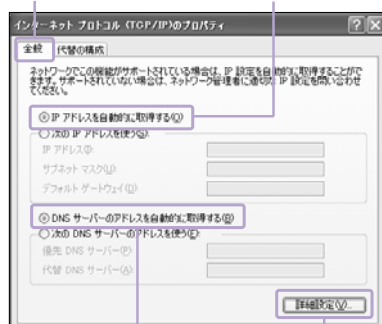


ここをクリック

- ⑦ [全般] タブをクリックします。  
[IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] が選択されていることを確認し、[詳細設定] をクリックします。

ここをクリック

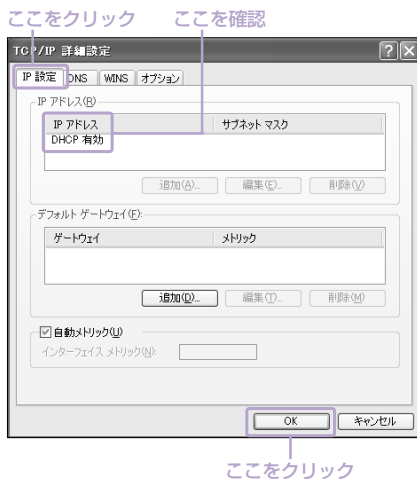
ここを確認



ここを確認

ここをクリック

- ⑧ [IP設定] タブをクリックします。[DHCP有効] となっていることを確認し、[OK] をクリックします。

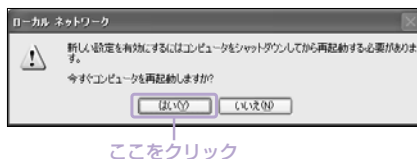


[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

- ⑨ [閉じる] をクリックします。



- ⑩ 再起動を求める画面が表示されたら [はい] をクリックします。



パソコンが再起動します。

## ネットワークの設定を確認する (2)

次に、IPアドレスとデフォルトゲートウェイが正しく設定されているかどうか確認します。

① [スタート] メニューの [コントロールパネル] をクリックします。

② [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

③ [ネットワーク接続] をクリックします。

ここをクリック



④ [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

! お使いのパソコンによって表示が多少異なります。

ここをダブルクリック

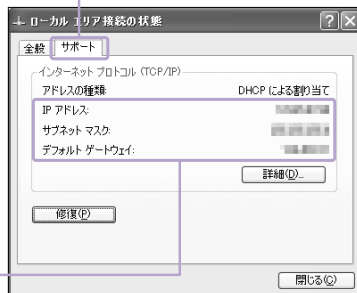


⑤ [サポート] タブをクリックします。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各種情報が表示されます。

! IPアドレスが「192.168.3…」で始まっていれば正常です。

ここをクリック

ここを確認



! IPアドレスが正しく取得できない場合は、[修復]をクリックします。修復が完了したら、[OK]をクリックします。



ここをクリック

◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る (Windows)」(P37) へお進みください。

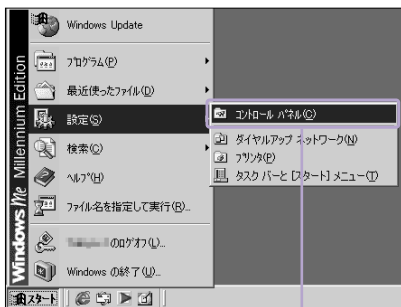
# ネットワークの設定をする (Windows Me/98)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- ① [スタート] メニューの [設定] - [コントロールパネル] をクリックします。

! お使いのパソコンによって表示が多少異なります。



ここをクリック

- ② [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

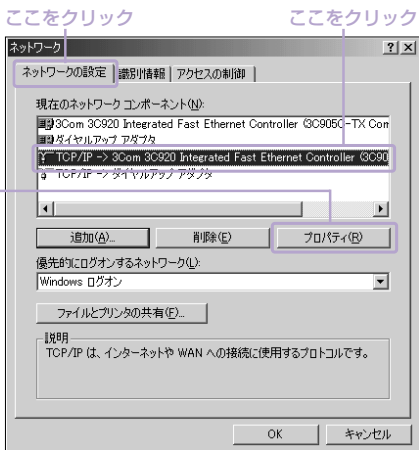
ここをクリック



[ネットワーク] 画面が表示されます。

- ③ [ネットワークの設定] タブをクリックし、[TCP/IP] または [TCP/IP-><LANカードの名前>] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

ここをクリック

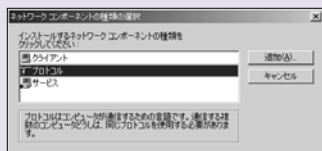


[TCP/IPのプロパティ] 画面が表示されます。

## ヒント 「TCP/IP」または「TCP/IP-><LANカードの名前>」という項目がない場合は

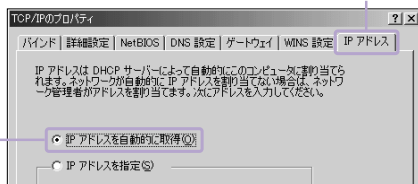
次の手順で、プロトコルにTCP/IPを追加してください。

- ①P35の手順③の画面で「追加」をクリックする。
- ②「ネットワークコンポーネントの選択」画面で「プロトコル」を選択して「追加」をクリックする。
- ③「ネットワークプロトコルの選択」画面で「製造元」は「Microsoft」、[ネットワークプロトコル]は「TCP/IP」を選んで「OK」をクリックする。



- ④ [IPアドレス] タブをクリックし、[IPアドレスを自動的に取得] を選択します。

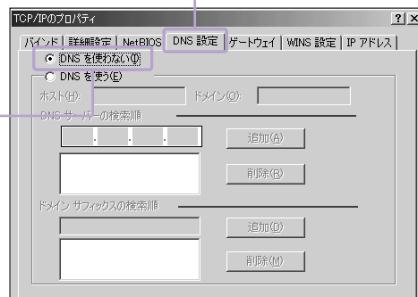
ここをクリック



ここをクリック

- ⑤ [DNS設定] タブをクリックし、[DNSを使わない] を選択します。

ここをクリック



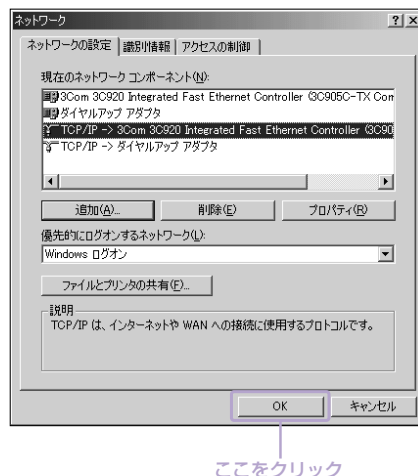
ここをクリック

- ⑥ [ゲートウェイ] タブをクリックします。[インストールされているゲートウェイ] に何も登録されていないことを確認し、[OK] をクリックします。



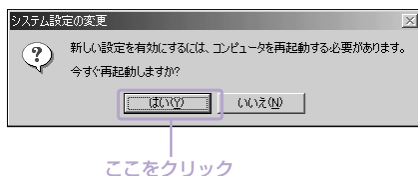
[ネットワーク] 画面に戻ります。

- ⑦ [OK] をクリックします。



! このとき、お使いのパソコンの環境によってはWindowsのCD-ROMをセットするように要求する画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってください。

- ⑧ 再起動を求める画面が表示されたら [[はい]] をクリックします。  
パソコンが再起動します。  
これでネットワークの設定は完了です。



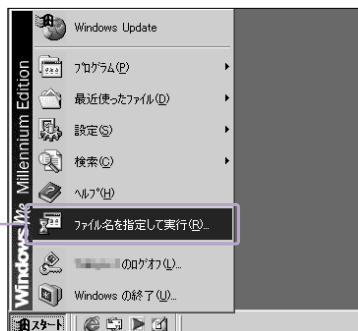
## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- ① [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

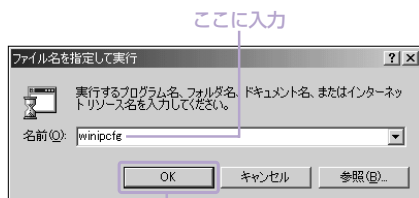
ここをクリック

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。



- ② 「winipcfg」と入力し、[OK] をクリックします。

[IP設定] 画面が表示されます。

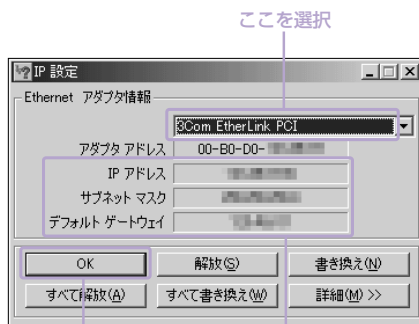


ここをクリック

- ③ [Ethernet アダプタ情報] が [PPP Adapter] と表示されている場合は、お使いのLANアダプタ (LANカード) を選択して、IPアドレスが取得できているかどうかを確認します。

! IPアドレスが「192.168.3...」で始まっている場合は正常です。

[OK] をクリックします。



ここをクリック

ここを確認

! IPアドレスが「0.0.0.0」となっていたり、デフォルトゲートウェイが空欄になっている場合は、[解放] をクリックして、次に [書き換え] をクリックしてください。この操作で [IPアドレス] と [デフォルトゲートウェイ] に数字が表示されれば正常です。

◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る (Windows)」(P37) へお進みください。

## ヒント [PPP Adapter] しか表示されない場合

[IP設定] 画面のプルダウンメニューに [PPP Adapter] だけが表示され、ご使用のネットワークアダプタの項目がない場合は、「TCP/IP」がインストールされていない、もしくは正常に動作していない可能性があります。

このような場合は、次の手順でTCP/IPを再インストールしてください（この作業を行う際に、WindowsのCD-ROM が必要になる場合があります）。

- ① [スタート] メニューから [設定] → [コントロールパネル] → [ネットワーク] を開く。
- ② [ネットワークの設定] タブの [現在のネットワークコンポーネント] の一覧で、[TCP/IP -> (ご使用のネットワークカードの名前)] を選択し、[削除] をクリックする。  
 ※一覧に「TCP/IP」から始まる項目がない場合は、次に進んでください。一覧に「TCP/IP」から始まる項目が複数表示されている場合は、「TCP/IP」から始まるすべての項目を同様に削除してください。
- ③ [追加] をクリックし、[ネットワークコンポーネントの選択] ダイアログを表示させる。
- ④ 一覧から [プロトコル] を選択して [追加] をクリックし、[ネットワークコンポーネントの選択] 画面を表示させる。
- ⑤ [製造元] は [Microsoft]、[ネットワークプロトコル] は [TCP/IP] を選択し、[OK] をクリックする。
- ⑥ [閉じる] ボタンをクリックして [ネットワークコンポーネントの選択] 画面を閉じる。
- ⑦ [現在のネットワークコンポーネント] の一覧に、[TCP/IP -> (ご使用のネットワークカードの名前)] が追加されたことを確認し、[OK] をクリックする。

※ [OK] をクリックすると、パソコンの再起動を求められます。ほかのアプリケーションを終了したあと、パソコンを再起動してください。ここでWindowsのCD-ROMを求められる場合もあります。

パソコンが再起動したら、[IP設定] 画面にご使用のネットワークアダプタが表示されていることを確認してください。

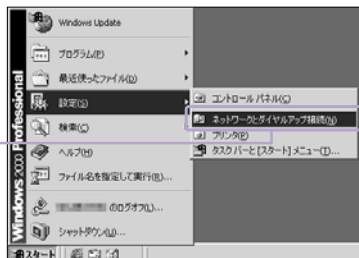
# ネットワークの設定をする (Windows 2000)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- ① [スタート] メニューの [設定] - [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックします。

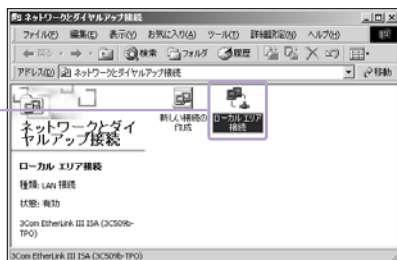
ここをクリック



- ② [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

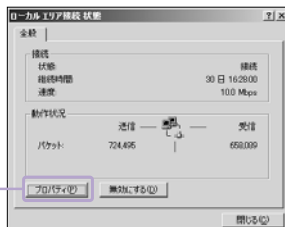
ここをダブルクリック

[ローカルエリア接続状態] 画面が表示されます。



- ③ [プロパティ] をクリックします。

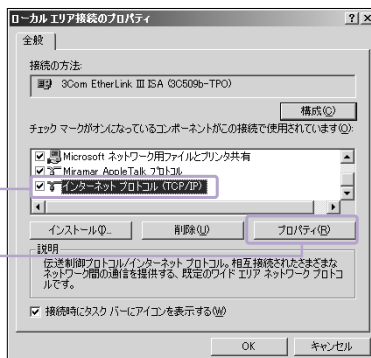
ここをクリック



- ④ [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

ここをクリック

ここをクリック

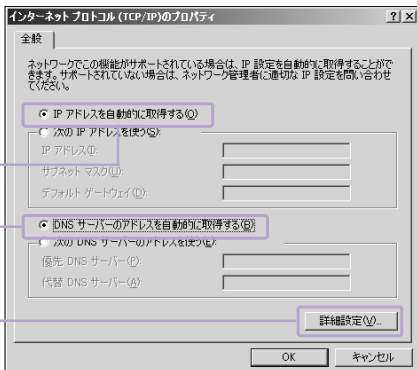


- ⑤ [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択し、[詳細設定] をクリックします。

ここをクリック

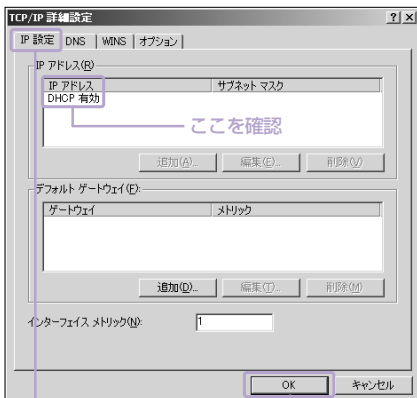
ここをクリック

ここをクリック



- ⑥ [IP設定] タブをクリックし、[IP アドレス] の一覧に [DHCP有効] の文字があることを確認し、[OK] をクリックします。

[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面に戻ります。



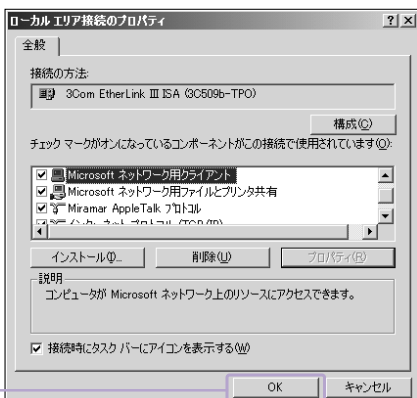
ここをクリック

ここをクリック

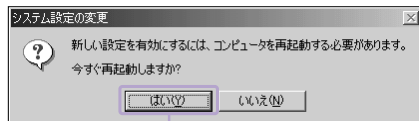
- ⑦ [OK] をクリックします。  
[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

- ⑧ [OK] をクリックします。

ここをクリック



- ⑨ 再起動を求める画面が表示されたら [はい] をクリックします。
- パソコンが再起動します。
- これでネットワークの設定は完了です。

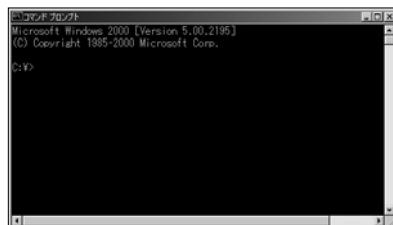


ここをクリック

## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- ① [スタート] メニューの [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。
- [コマンドプロンプト] 画面が表示されます。
- キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。



- ② IP Address、Subnet Mask、Default Gatewayの各情報が表示されます。

! IPアドレス (IP Address) が「192.168.3...」で始まっている場合は正常です。



- ! IP AddressとDefault Gateway が正しく設定されていない場合は、  
「ipconfig /renew」と入力し、  
[Enter] キーを押します。  
(「ipconfig」と「/」の間には、半角スペースを入れてください。)
- IP Address、Subnet Mask、Default Gatewayの各情報が表示されます。



◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る (Windows)」(P37) へお進みください。

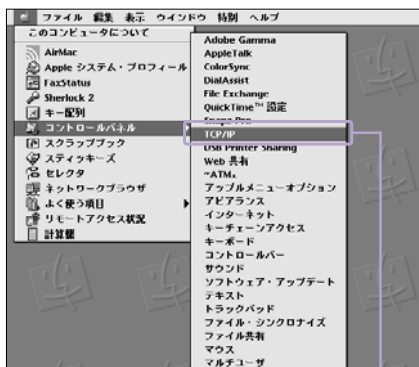
# ネットワークの設定をする (Mac OS 9.1以降)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- ① [アップル] メニューの [コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択します。

! [アップルメニューオプション] で [サブメニュー] の機能をオフにしている場合は、アップルメニューの [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルのウィンドウが表示されてから [TCP/IP] をダブルクリックします。

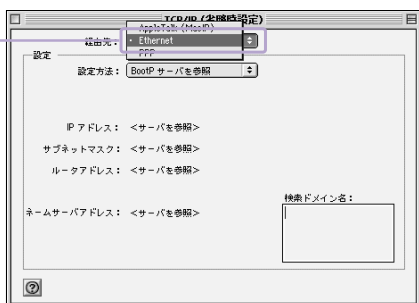


[TCP/IP] 画面が表示されます。

ここを選択

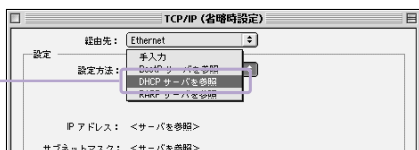
- ② [経由先] で [Ethernet] を選択します。

ここを選択



- ③ [設定方法] で [DHCPサーバを参照] を選択します。

ここを選択

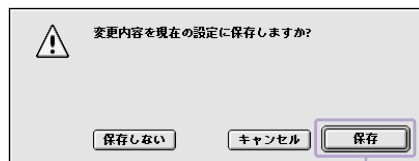


④ [TCP/IP] 画面を閉じます。

「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されます。

「保存」を選択します。

これでネットワークの設定は完了です。



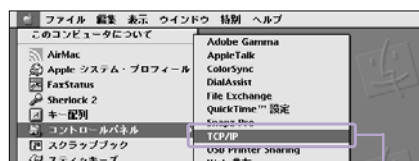
ここを選択

## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

① [アップル] メニューの [コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択します。

[TCP/IP] 画面が表示されます。



ここを選択

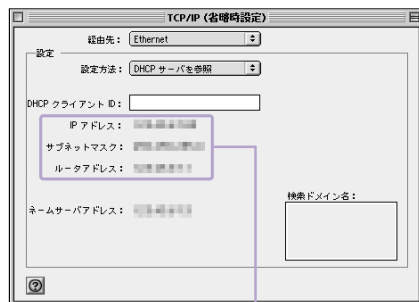
② ネットワークの設定がきちんとされていることを確認します。

確認する箇所は次のとおりです。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ルータアドレス

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

! IPアドレスが「192.168.3...」で始まっていれば正常です。



ここを確認

③ ネットワークの設定を確認したら、[TCP/IP] 画面を閉じます。

! このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら「保存しない」をクリックします。

◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る (Mac OS)」(P38)へお進みください。

# ネットワークの設定をする (Mac OS X)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- ① Dock上の[System Preferences] アイコンをクリックします。

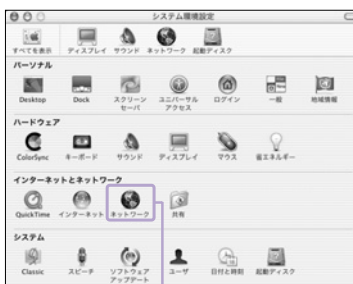
[システム環境設定] 画面が表示されます。

ここをクリック



! Mac OS X の初期設定では、Dockに [システム環境設定] のアイコンが登録されています。Dockから削除してしまった場合は、[アップル] メニューの [システム環境設定] を選択します。

- ② [ネットワーク] アイコンをクリックします。



ここをクリック

- ③ [表示] の一覧から [内蔵Ethernet] を選択します。

ここを選択



- ④ [TCP/IP] タブをクリックし、TCP/IP の設定画面で次のように設定します。

[設定] : [DHCPサーバを参照]

[DHCPクライアントID] : 空白

[ドメインネームサーバ] : 空白

[検索ドメイン] : 空白

ここを確認



- ⑤ [PPPoE] タブをクリックし、[PPPoEを使って接続する] にチェックがついている場合はチェックを外します。

！ リーチDSLモデムは、PPPoEを使用しません。

ここをクリック

ここを確認



- ⑥ [AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk使用] にチェックがついている場合は、チェックを外します。

ここをクリック

ここを確認



- ⑦ [プロキシ] タブをクリックし、[FTPプロキシ]、[Webプロキシ (HTTP)]、[Secure Webプロキシ (RTSP)]、[ストリーミングプロキシ (RTSP)]、[Gopherプロキシ]、[SOCKSファイアウォール] にチェックが入っている場合は、すべてのチェックを外します。

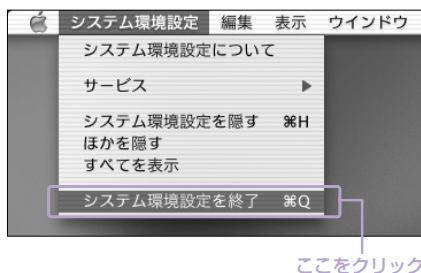
設定を変更した場合は、[今すぐ適用] をクリックします。



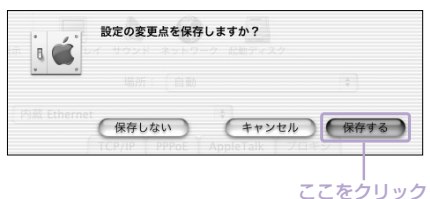
[今すぐ適用] をクリックしないでほかの設定を行おうとすると、[設定の変更点を保存しますか?] というメッセージが表示されるので、[保存する] をクリックします。



- ⑧ [システム環境設定] メニューの [システム環境設定を終了] を選択します。



- ⑨ [設定の変更点を保存しますか?] というメッセージが表示されたら [保存する] をクリックします。これでネットワークの設定は完了です。



## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- ① Dock上の[System Preferences] アイコンをクリックします。

[システム環境設定] 画面が表示されます。

[ネットワーク] アイコンをクリックします。

ここをクリック



- ② [表示] の一覧から [内蔵Ethernet] を選択します。

ここを選択



- ③ [TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

! IPアドレスが「192.168.3...」で始まっていると正常です。

ここを選択

ここを確認



- ④ [システム環境設定] メニューの [システム環境設定を終了] を選択します。

◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る (Mac OS)」(P38) へお進みください。

# ブラウザでホームページを見る (Windows)

パソコンの設定が終わったら、インターネットに接続できているかどうか確認してみましょう。ブラウザを起動して、インターネットのホームページが表示されたら、ADSL接続サービスは正常に動作しています。

ここでは、Internet Explorer 6.xで確認する手順を紹介します。

- ① [スタート]メニューの[Internet Explorer]をクリックします。または、デスクトップの[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックします。

Internet Explorerが起動します。

- ② アドレスバーに「http://www.softbankbb.co.jp/」と入力し、[移動]をクリックします。



ここに入力      ここをクリック

- ③ ホームページが表示されることを確認します。

※このホームページを表示するためには、動画アニメーション再生ソフト「Flash Player」が必要となります。インストール画面が表示された場合には、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ホームページが表示されたら、接続はOKです。ネットサーフィンをお楽しみください。



## ヒント Internet Explorerを初めて起動したときは

インターネット接続ウィザードが表示されることがあります。このウィザードは、ダイヤルアップ接続の接続先を設定するためのものです。ここでは[キャンセル]をクリックして、ウィザードを終了してください。

インターネット接続ウィザードでメールの設定を行う方法については、「Outlook Expressの設定をする (Windows)」(※P39)を参照してください。

! Internet Explorerの詳しい設定については、オンラインヘルプまたは市販の解説書などを参考にしてください。

(※本冊子に掲載のウェブ画面は、実際とは異なる場合もあります。)

# ブラウザでホームページを見る (Mac OS)

パソコンの設定が終わったら、インターネットに接続できているかどうか確認してみましょう。ブラウザを起動して、インターネットのホームページが表示されたら、ADSL接続サービスは正常に動作しています。

ここでは、Internet Explorer 5.xで確認する手順を紹介します。

- ① デスクトップの「WWWブラウザ」アイコンをダブルクリックします。  
(Mac OS Xをご利用の方は、Dock上に登録されている「Internet Explorer」アイコンをクリックしてください。)  
Internet Explorerが起動します。

- ② アドレスバーに「http://www.softbankbb.co.jp/」と入力し、[移動]をクリックします。



- ③ ホームページが表示されます。

※このホームページを表示するためには、動画アニメーション再生ソフト「Flash Player」が必要となります。インストール画面が表示された場合には、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ホームページが表示されたら、接続はOKです。ネットサーフィンをお楽しみください。



Internet Explorerの詳しい設定については、オンラインヘルプまたは市販の解説書などを参考にしてください。

# Outlook Expressの設定をする (Windows)

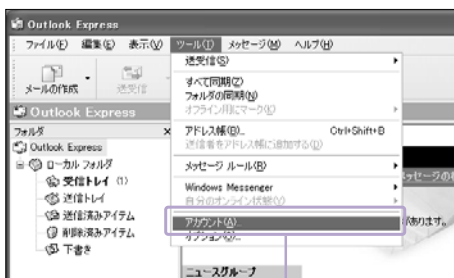
メールソフトでメールを使うための設定を行います。

ここでは、Outlook Express 6.xで設定する手順を紹介します。

メールアドレスやアカウント、パスワードなどの情報は、ご利用のプロバイダより通知されたものを設定してください。

- ① [ツール] メニューの [アカウント] をクリックします。

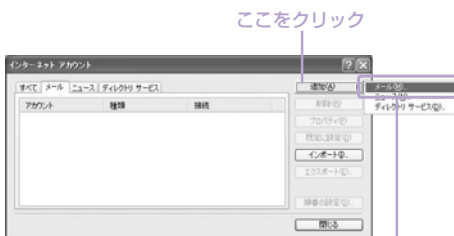
[インターネットアカウント]  
画面が表示されます。



ここをクリック

- ② [追加] をクリックし、一覧から [メール] をクリックします。

[インターネット接続ウィザード]  
が起動します。



ここをクリック

- ③ 自分の名前を入力し、[次へ] をクリックします。

ここで入力した名前が送信メール  
に表示されます。



ここに入力

ここをクリック

- ④ メールアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

ここに入力      ここをクリック

- ⑤ 受信メールサーバー、送信メールサーバーを入力し、[次へ]をクリックします。

ここに入力      ここに入力

- ⑥ アカウント名、パスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

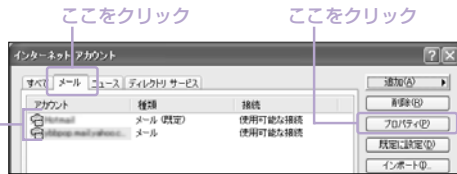
ここに入力      ここに入力      ここをクリック

## ヒント パスワードを保存する

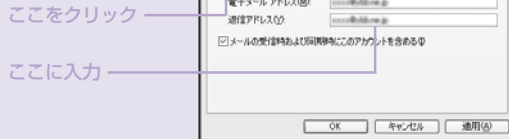
お一人だけでパソコンを使う場合など、他人にメールを読まれる心配がないときは、「パスワードを保存する」をチェックしてもかまいません。ただし、ほかの方とパソコンを共用していてメールを読まれたくない場合はチェックを外してください。

- ⑦ [完了] をクリックします。  
[インターネットアカウント] 画面に戻ります。

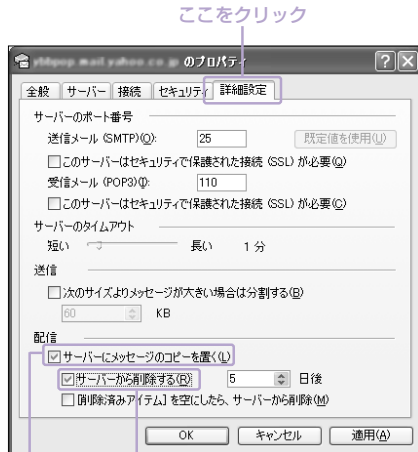
- ⑧ [メール] タブをクリックします。  
先ほど設定したアカウントを選択し、[プロパティ]をクリックします。  
ここから選択  
[プロパティ] 画面が表示されます。



- ヒント** [返信アドレス]の設定  
設定したアカウント以外のメールアドレスで返信を受け取りたい場合には、[全般] タブをクリックし、[返信アドレス]に入力します。通常は、空欄のままでもかまいません。



- ⑨ [詳細設定] タブをクリックします。
- ・ [サーバーにメッセージのコピーを置く] :  
必要に応じて設定します。
  - ・ [サーバーから削除する] :  
必要に応じて設定します。



ここをチェック ここをチェック

## ユーザー認証の設定

プロバイダによっては、迷惑メールの送信や第三者の中継による悪質ないたずらなどを防ぐために、メール受信の操作でユーザー認証（ユーザーが本人であることの確認）を行っている場合もあります。そうしたメールサービスをお使いの場合には、先にメール受信を行わないと、メールの送信はできません。

しかし、Outlook ExpressはSMTP-AUTH機能\*に対応しているため、簡単な設定（次の⑩～⑫の操作）を行うだけで、順番を意識することなく送受信の操作を行うことができます。

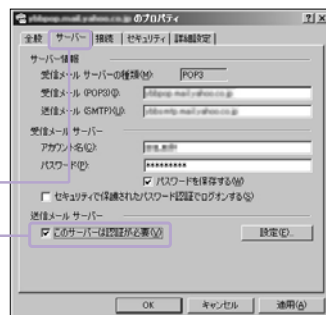
※ SMTP-AUTH : メール送信時にユーザー認証することにより、メールの送信許可を行う方法

- ⑩ [サーバー] タブをクリックし、  
[送信メールサーバー] の [このサーバーは認証が必要] を  
チェックします。

※市販のウイルス対策ソフトをインストール済みのお客様は、さらに詳細な設定（ここでは⑪～⑬の操作）が必要となる場合があります。

ここをクリック

ここをチェック



- ⑪ [設定] をクリックします。



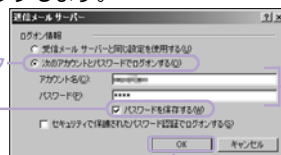
[設定] は、⑩で [このサーバーは認証が必要] をチェックしないと、クリックできません。

- ⑫ [送信メールサーバー] 画面を設定します。  
[次のアカウントとパスワードでログインする]：チェックします。

ここを入力

！ この欄をチェックしないと、次の [アカウント] と [パスワード] は入力できません。

ここを  
チェック



ここをチェック

ここをクリック

[アカウント名]：

メールのアカウントを入力します。

[パスワード]：

メールのパスワードを入力します。

[パスワードを保存する]：

チェックします。

入力が終わったら、[OK] をクリックします。

※市販のウイルス対策ソフトをお使いのお客様で、⑩～⑬の設定を行ってもSMTP-AUTHがうまく機能しない場合（先にメール受信をしないとメールが送信できないなど）は、お使いのウイルス対策ソフトメーカーにお問い合わせ下さい。

- ⑬ [接続] タブをクリックします。

[このアカウントには次の接続を使用する] で、[ローカルエリアネットワーク (LAN)] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。

ここをクリック

ここを確認



ここをクリック

[インターネットアカウント] 画面に戻ります。

- ⑭ [閉じる] をクリックします。  
これでメールの設定は完了です。

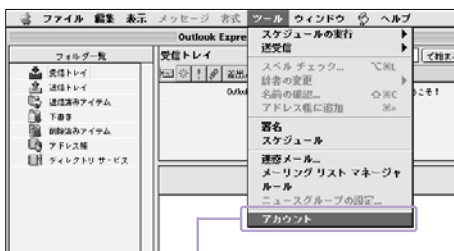
# Outlook Expressの設定をする (Mac OS 9.1以降)

メールソフトでメールを使うための設定を行います。

ここでは、Outlook Express 5で設定する手順を紹介します。

メールアドレスやアカウント、パスワードなどの情報は、ご利用のプロバイダより通知されたものを設定してください。

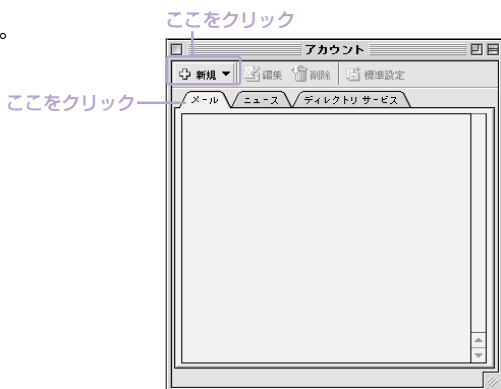
- ① [ツール] メニューの [アカウント] をクリックします。



[アカウント] 画面が表示されます。

ここをクリック

- ② [メール] タブをクリックします。  
[新規] をクリックします。



[新規アカウント] 画面が表示されます。

- ③ [種類] が [POP] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



④ 次のように設定します。

(A) **【アカウント名】** :  
わかりやすい名前を付けます。

(B) **【名前】** :  
送信したメールに表示される  
名前を入力します。

**【メールアドレス】** :  
メールアドレスを入力します。

(C) **【アカウントID】** :  
メールのアカウントを入力し  
ます。

**【POPサーバー】** :  
プロバイダから通知されたも  
のを入力します。

**【パスワードの保存】** :  
パスワードを入力します。

(D) **【SMTPサーバー】** :  
プロバイダから通知されたも  
のを入力します。

ここをクリック

**ヒント** パスワードを保存する

お一人だけでパソコンを使う場合など、他人にメールを読まれる心配がないときは、[パスワードの保存]をチェックしてもかまいません。ただし、ほかの人とパソコンを共用していてメールを読まれたくない場合はチェックを外してください。

## ユーザー認証の設定

プロバイダによっては、迷惑メールの送信や第三者の中継による悪質ないたすらなどを防ぐために、メール受信の操作でユーザー認証（ユーザーが本人であることの確認）を行っている場合もあります。そうしたメールサービスをお使いの場合には、先にメール受信を行わないと、メールの送信はできません。

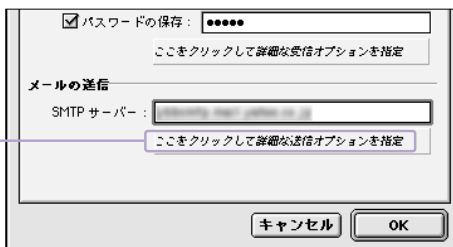
しかし、Outlook ExpressはSMTP-AUTH機能<sup>※</sup>に対応しているため、簡単な設定（次の⑤～⑧の操作）を行うだけで、順番を意識することなく送受信の操作を行うことができます。

※SMTP-AUTH：メール送信時にユーザー認証することにより、メールの送信許可を行う方法。

- ⑤ SMTP-AUTH機能を有効にする場合は、④の画面で「メールの送信」の「ここをクリックして詳細な送信オプションを指定」をクリックします。

ここをクリック

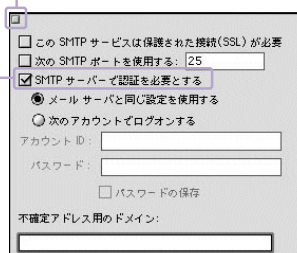
※SMTP-AUTH機能を利用しない場合は、⑦へ進んでください。



- ⑥ 表示された画面で「SMTPサーバーで認証を必要とする」にチェックをつけ、左上の□をクリックします。

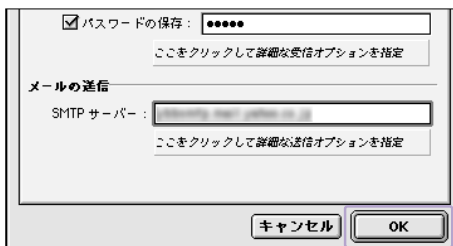
ここをチェック

ここをクリック

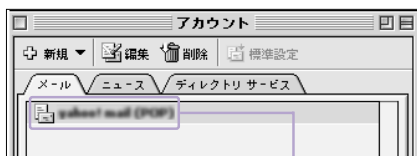


- ⑦ 「アカウントの編集」画面で「OK」をクリックします。

ここをクリック



- ⑧ 「アカウント」の画面で、設定したアカウントが表示されていることを確認します。



ここを確認

これでメールの設定は完了です。

# Mailの設定をする (Mac OS X)

メールソフトでメールを使うための設定を行います。

ここでは、Mac OS Xに用意されているメールソフト、Mail 1.x で設定する手順を紹介합니다。

メールアドレスやアカウント、パスワードなどの情報は、ご利用のプロバイダより通知されたものを設定してください。

- ① Dock上の [Mail] アイコンをクリックします。

Mailが起動し、[Mail設定画面]が表示されます。



ここをクリック

！すでに別のメールアカウントでの送受信が設定されている場合は、[Mail環境設定] 画面 (Mac OS X 10.2以上の場合は [アカウント] 画面) が表示されます (④へ)。

- ② 次のように設定します。

**[氏名] :**

送信したメールに表示される名前を入力します。

**[メールアドレス] :**

メールアドレスを入力します。

**[受信用メールサーバ] :**

プロバイダから通知されたものを入力します。

**[メールサーバの種類] :**

[POP] を選択します。

**[ユーザアカウントID] :**

アカウントを入力します。

**[パスワード] :**

パスワードを入力します。

**[送信用 (SMTP) メールサーバ] :**

プロバイダから通知されたものを入力します。

[OK] をクリックします。

[個人メールボックス上のINBOX] が表示されます。

ここに入力/設定



ここをクリック

- ③ メニューバーの [Mail] — [環境設定] をクリックします。

ここをクリック



[Mail環境設定] 画面 (Mac OS X 10.2以上の場合は[アカウント]画面) が表示されます。

- ④ ②で設定したメールアカウントを選択し、[編集] をクリックします。

ここを選択

ここをクリック



## ヒント メールアカウントを設定していない場合

②でメールアカウントを設定していない場合には、④の画面で [アカウント作成] をクリックします。アカウント情報を設定する画面が表示されますので、②と同様に各項目を入力/設定してください。



ここをクリック

## ユーザー認証の設定

プロバイダによっては、迷惑メールの送信や第三者の中継による悪質ないたすらなどを防ぐために、メール受信の操作でユーザー認証 (ユーザーが本人であることの確認) を行っている場合もあります。そうしたメールサービスをお使いの場合には、先にメール受信を行わないと、メールの送信はできません。

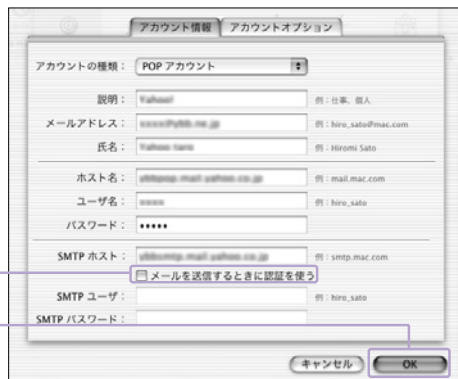
しかし、Mac OS XのMailはSMTP-AUTH機能※に対応しているため、簡単な設定 (次の⑤～⑥の操作) を行うだけで、順番を意識することなく送受信の操作を行うことができます。

※SMTP-AUTH: メール送信時にユーザー認証することにより、メールの送信許可を行う方法。

- ⑤ SMTP-AUTH機能を有効にする場合は、次の設定を行います。

■Mac OS X 10.1以下の場合

[メールを送信するときに認証を使う]にチェックをつけ、[OK]をクリックします。

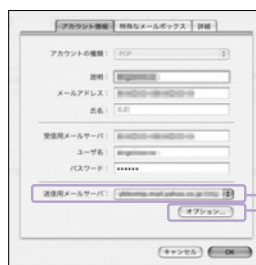


ここを選択

ここをクリック

■Mac OS X 10.2以上の場合

- (1) [送信用メールサーバ] にプロバイダから通知されたものを設定し、[オプション]をクリックします。  
[SMTPサーバのオプション]画面が表示されます。



ここを設定

ここをクリック

- (2) [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[OK]をクリックします。  
Mac OS X 10.2以上の場合、これでメールの設定は完了です。



ここに入力

ここをクリック

- ⑥ 左上の赤い[X]をクリックして、[Mail環境設定]画面 (Mac OS X 10.2以上の場合には[アカウント]画面) を閉じます。

ここをクリック



これでメールの設定は完了です。

お問い合わせ時必携！  
**登録情報 一覧表**

弊社に登録した情報を、まとめてご記入ください。必要な情報がひと目でわかるので、電話やメールでお問い合わせいただく際にご参照いただくととても便利です。

また、ご自身が登録情報をお忘れになった場合の備えとしても、ぜひご活用ください。

|                   |  |                                                                                            |  |
|-------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| お申し込みの際の登録情報      |  | 弊社にお申し込みの際に申込書やウェブからご登録いただいた情報をお書きください。                                                    |  |
| お申し込み者名           |  |                                                                                            |  |
| お申し込み電話番号         |  | (                      )                      -                                            |  |
| お申し込み住所           |  |                                                                                            |  |
| ご利用開始時の登録情報       |  | ご利用開始時に弊社よりお知らせした情報をお書きください。<br>ご利用開始日は「ご利用開始のご案内」(メール)*、カスタマーIDは「スターターバック」(封書)でご確認いただけます。 |  |
| ご利用開始日            |  |                                                                                            |  |
| カスタマーID           |  |                                                                                            |  |
| メールの情報            |  | メールの設定についての情報をお書きください。                                                                     |  |
| メールアドレス           |  |                                                                                            |  |
| アカウント             |  |                                                                                            |  |
| メール受信 (POP3) サーバー |  |                                                                                            |  |
| メール送信 (SMTP) サーバー |  |                                                                                            |  |
| その他の情報<br>(自由記入欄) |  | 上記のほか、メモしておきたい情報などがありましたら、ご自由にご記入ください。                                                     |  |
|                   |  |                                                                                            |  |

■その他、お問い合わせの際にご用意いただくと便利なもの■

- ・「スターターパック」(封書)
- ・(弊社よりお送りした封書・ハガキ、メールの内容に関するご質問の場合) 該当の封書・ハガキ、メール
- ・(キャンペーンに関するご質問の場合) そのキャンペーンをお知りになったチラシなど
- ・「セットアップガイド」(本冊子)、「サービスご利用ガイド」、「トラブルシューティングガイド」
- ・お使いのパソコンの取扱説明書 など



発行元 ソフトバンクBB株式会社

YRM060508

2005年8月10日発行

- 本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- 本冊子の製品に対する記述は情報を提供とする目的で書かれたもので、保証するものではありません。